

使っている花 ■ ユリ(ノーブルリリー)、クレマチス(あやめの君)、スプレングリー

7月
July



ユリ

花言葉 純潔／威厳

花粉がでない八重咲きのユリにも注目！
濃密な香りで夏の記憶を刻んで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、蕾が膨らみ色づいたものを選びましょう。
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してから長く楽しめます。
- バクテリアの影響を受けにくいので、水替えが面倒な方におすすめです！
- ユリの花粉は、蕾の咲き始めにピンセットなどで取り除くと花粉が散りません。万が一洋服などについた場合は、ガムテープなどでポンポンと取り除くのがよいでしょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①夏のユリは葉も美しいので、葉を適度に残しながら水に浸かる下葉を取り除きます。
- ②ユリは花も重たいので、安定感のある器に活けましょう。今回は大き目の薬瓶風の器をチョイスし、ノーブルリリーのみをあしらいました。
- ③小さな薬瓶には可憐なクレマチスを、背景にスプレングリーを並べます。複数の器を集めてそれぞれに花を飾る方式なら、簡単おしゃれに季節の様々な花を楽しめます。同じ空気感を持つ旬の花々なら、何をあわせても絵になります。

気高く香る夏の女王

日本はユリの聖地。山野では盛夏に向けて、スカシユリ、ササユリ、テッポウユリ、ヤマユリなど多様なユリを楽しめます。画像の「ノーブルリリー」は高知県で生まれたスカシユリが突然変異した珍しい品種(ユリ特有の香りもありません)。昨今は“ローズリリー”と呼ばれる、花粉がでない豪華な八重咲き品種の開発が盛んで、注目を集めています。

